

水道事業特別会計

•反対 岡前 治生 議員

予算委員会に提出された2004年度の施設及び業務の概要によると、配水能力に対する一日の平均配水量の割合は52.7%であり、通常では配水能力の半分しか使用されていないことになる。水の需要に対して過大な設備が建設されていると言える。また一人当たりの年間使用量は、波賀簡水では101.3トンに対し、山崎簡水では57.2トン、一宮簡水では75.9トン、山崎水道では83.8トンとなっており、高い水道料金であるがため、水道の使用料が伸びず、使用収入も伸びないという悪循環が続いている。

2005年度予算の損益計算書では、当年度利益を9147万円としているが、この利益を圧縮して水道料金を引き下げることによって、水道使用量を増やし、使用料の増収につなげるという経営を追求すべきだ。

特に旧山崎町の水道料金の高さは兵庫県下で5番目で、低廉な水の供給にはなっていない。よって本予算案に反対する。

•賛成 小林 健志 議員

平成17年度には、主な事業として平成16年度に続き、老朽管布設替え工事、配水管布設整備事業で、田井・中広瀬線道路改良に伴う移設工事、戸原橋取合配水管布設工事、配水流量計更新改良工事等の整備も予定している。

施設の整備は概ね目標を達成し、安全で良質な水道水の供給と使用の推進を図り、企業としても安定経営を目指している。

今後、4町の格差が大きい水道料金をどう統一していくのか、上水・下水の接続率向上にどう取り組んでいくのかが大きな課題であると同時に、滞納金対策を確実に行うことが求められている。

本予算案に対しては格別に反対する点は見当たらず、水道水利用の更なる拡大に期待して原案に賛成する。

賛成多数で可決されました

人事案件の同意

今定例議会に4件の人事議案が上程され、堅実、調和、創造を基本に選任されており、同意されました。

助 役	西 川 千 壽
収 入 役	清 水 隆 司
学識経験監査委員	西 山 政 男
議会選任監査委員	木 藤 幹 雄

工事契約締結案件

今議会に2件の工事契約締結に係る案件が上程され、確実、清楚、を基に執行されており、可決されました。

- 千種簡易水道配水管布設工事請負契約の締結【1工区】
- 千種簡易水道配水管布設工事請負契約の締結【2工区】

市条例専決処分承認

- 宍粟市教育委員会教育職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例に係る専決処分の承認を求めることについて

市条例の制定

- 宍粟市地域協議会条例の制定
- 宍粟市消防審議会条例の制定

市条例の改正

- 宍粟市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例
- 宍粟市母子家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

以上の条例については、慎重審議、激論の結果、原案のとおり可決されました。